

## 1 5 国民春闘アピール

京都総評は、本日、臨時大会を開催し、すべての働く仲間と力を合わせて、1 5 国民春闘勝利をめざして総決起することを確認しました。

いまや、労働者の4分の1が年収200万円以下となり、非正規雇用は2000万人を越えました。「増税・物価高・社会保障の改悪。このままでは暮らせない」と悲鳴があがっています。賃上げが暮らしはもちろん、景気回復の鍵であることは誰もが認めるところとなりました。首相が財界に賃上げを再び要請しましたが、「利益が上がれば賃上げ」と、企業頼みのトリクルダウン論では、待っていても賃上げには及びません。賃上げは私たちのたたかいにかかっています。政府が「賃上げ」と言うのならば、最賃引上げ・中小企業支援こそ、即刻やるべきです。

昨秋以来、労働者派遣法の改悪を労働者の団結の力で止めてきました。また、公務員給与の引き下げ見直しに対し、公務・民間・地域が団結して「賃上げの流れを止めるな」「地域経済を冷やすな」とたたかい、京都では食い止めてきました。今春闘は、これらのたたかいを確信に、全ての職場と地域から、ベースアップ・大幅賃上げと均等待遇を求めて総決起する正念場の春闘です。

1 5 春闘で私たちは、「だれでも月額2万円以上、時間額150円以上の賃上げ」を要求してたたかいます。

大企業の行き過ぎた貯め込みを労働者と下請けへ還元させ、すべての労働者にまともな賃金を保障し、安定した雇用と均等待遇の実現を求めます。

労働者派遣法改悪をはじめ「残業代ゼロ」「解雇自由」など働くルール破壊を許さず、ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現をめざします。すべての争議の勝利解決をめざします。

府民と力をあわせ、消費税10%への増税中止・中小企業への増税反対、社会保障改悪反対、原発再稼働反対、TPP交渉からの撤退、改憲と「戦争する国づくり」反対、沖縄に連帯し米軍Xバンドレーダー基地の撤去など、暴走政治と対決します。

春闘60年、大幅賃上げで、暮らしも地域の経済も再生する道を切り開くたたかいです。

いっせい地方選も目前、暴走する安倍政権に対し、強まる「命と暮らしを守れ」との世論を力に、共同を広げる運動のスタートです。

いまこそ、組織の拡大強化で攻勢的にたたかうことをめざし、総決起することを心から呼びかけます。

2015年1月24日

京都総評第80回臨時大会